

諫早市長

大久保 潔重 様

政 策 提 案

令和6年10月

諫早市スポーツ議員連盟

諫早市スポーツ議員連盟からの政策提案について

令和3年7月2日に諫早市スポーツ議員連盟は、当市の各種体育施設の活用促進、スポーツ競技団体やスポーツ競技大会の誘致等について積極的に取り組み、市民のスポーツ交流環境の充実とスポーツ振興に資すること（規約第2条）を目的として発足されました。

この規約に基づき、西九州新幹線の開通や、スポーツパークいさはや及び本明川ボートコースの供用開始により、「スポーツのまち」としての重要性が更に高まり、「スポーツに関連した交流人口の拡大と施設整備の充実」を図る必要があると考え、令和4年5月に長崎陸上競技協会、令和5年1月に諫早市軟式野球連盟と長崎県ローイング協会（旧ボート協会）、令和6年4月に諫早バスケットボール協会、同年5月に諫早市サッカー協会のそれぞれの代表者らと意見交換を行い、議論を重ねてまいりました。

今回、その結果を踏まえ、改善すべき事項や留意すべきことについて提案しますので、今後の市政運営に生かされるよう要請します。

スポーツに関連した交流人口の拡大と施設整備の充実

- 『スポーツパークいさはや』は第1・第2野球場が隣接し、サッカー広場も整備され、県内でも有数の施設である。これまでの利用実績から今後の活用を考えれば、スポーツ交流人口拡大に向けた、まさに核となる施設であり、更なる整備促進が求められる。
 - 大学やプロ野球選手の合宿キャンプで更に利用しやすいよう、第1野球場のバックスクリーン裏の芝生広場に、室内練習場の整備について検討を行うこと。
 - 同野球場の内野席と外野席の間にある観客席へのアクセスができず、出入口も1つのため、利便性の向上のために改善に向けた検討を行うこと。
 - サッカー広場には常設の雨よけや落雷からの避難場所がない。安全・安心に利用するために、管理棟を含めた施設の整備を行うこと。
- スポーツ交流人口の拡大に向け、各種施策を行っているが、スポーツ合宿や大きな大会の誘致は難しい状況である。宿泊施設のキャパシティの問題や連泊しやすい宿泊施設、合宿施設の整備は大きな課題である。

また、大規模大会や合宿等の開催が多い自治体では、市職員による『おもてなし』が行われている。諫早市のスポーツ施設は大切な資産であり、それを活用できるよう宿泊施設の課題への取組と大会や合宿等の誘致が促進される施策に努めること。

- 3 熱中症対策については、全国的な課題である。地域の中心施設でもあるとどろき体育館及び飯盛体育館と、老朽化が著しい諫早市体育館にエアコン等空調設備の配備については、整備計画をふまえ取り組むこと。また、屋外施設も含め、スポーツ施設への大型の扇風機や冷風機、スポットクーラー等の配備については、利用者の生命を守るための施策として早急に取り組むこと。会場を早めに開けるなど大会日程の2部制についても柔軟に対応すること。
- 4 本明川ボートコースはB級公認コースで、直線距離で5000m、8コース「漕ぎこみ」トレーニングが1年中できるコース環境は、世界に誇れる優れた会場である。現在、ボート競技の拠点は長崎県立形上湾ボート場だが、拠点変更を目指した更なる整備促進が求められる。
 - (1) ボートの運搬やレンタルが可能となり、合宿や大会への参加数の増加に向けて、艇庫、指導用モーターボート、コースブイ及び管理道路の配備・整備を進めること。
 - (2) 悪天候時に利用できる、室内トレーニング施設（インドアローイング）を備えることで、施設としての強みを持つことから、他競技も一緒にできる室内施設の検討を行うこと。

令和6年10月11日

諫早市スポーツ議員連盟会長 中野 太陽

諫早市長 大久保 潔重 様